

第 106 回九州林政連絡協議会

議題：九州における特定母樹の申請・普及と増殖技術の開発（九州育種場）

○特定母樹の指定状況

令和 2 年度末現在で九州管内の特定母樹は、スギエリートツリー 18 系統、第一世代精英樹の少花粉スギ品種 7 系統、低花粉スギ品種 1 系統、第一世代精英樹 13 系統、ヒノキエリートツリー 1 系統の計 40 系統となっています。

今中長期計画期間中はヒノキの特定母樹の申請に取り組むとともに、引き続きスギエリートツリーの開発を進め、育種集団林（第 3 世代）の設定を行うこととしています。

○特定母樹の原種配布状況

スギ特定母樹の原種の配布は平成 26 年度から開始し、令和 2 年度末現在で累計 15,612 本を九州各県及び認定特定増殖事業者からの要望に応じ配布しています。

また、ヒノキ特定母樹については、平成 30 年度 70 本、令和元年度 25 本、合計 95 本の原種配布を行いました。

○特定母樹の原種配布後の九州育種場の取組

県や認定特定増殖事業者などを対象に、会議等において育種情報の提供を行うとともに、採種（穂）園等の造成・改良、優良種苗のコンテナ苗生産技術など林木育種技術に関する講習会の開催及び現地指導等を実施しています。

講習会や現地指導を希望される場合には、九州育種場のホームページにあるお問い合わせ先までご連絡をお願いします。

○特定増殖事業者の認定状況

九州管内の「認定特定増殖事業者」は、令和 2 年度に新たに 3 者の方が認定され、令和 3 年 8 月末現在で熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県内の企業及び個人の計 23 者となっています。

また、今年度も複数の新規参加者が予定されています。

○土を使わずミスト散水でさし穂を発根させる技術（エアざし）

九州育種場において、スギのさし穂を土にさすことなく、空気中に露出するように立て、定期的にミスト散水することによって発根させる技術（エアざし）を開発し特許を取得しました。（別添資料参照）

土を使わずミスト
散水でさし穂を発根
させる技術
(エアざし)を開発



お問い合わせ先

国立開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所 林木育種センター 九州育種場
TEL : 096-242-3151 FAX : 096-242-3150
e-mail: kyusyuiikusyu@ml.affrc.go.jp

ホームページもご参照ください

(https://www.ffpri.affrc.go.jp/kyuiku/documents/200821_puresugennkou_eazasi_a.pdf)

スギのさし穂を土にさすことなく、空气中に露出するように立て、定期的にミスト散水することによって発根させる技術（エアざし）を開発しました（特許取得*1）。



〈簡易設備でシステム構築〉

簡易温室に散水装置を設置するだけでシステムの骨格が完成です。

〈作業の簡便化〉

この手法により、従来さし木に必要なだった土の準備や掘り取り作業が不要になります。



〈安定的な発根〉

定期的なミスト散水により、土にさした場合と比較して1.3倍程度の発根率が得られます*2。

〈移植時期の見える化〉

発根状況を目視で確認できるため、効率的なさし木コンテナ苗生産が可能になります。

〈マニュアルの公開〉

イノベーション創出強化研究推進事業（農研機構生研支援センター）の成果として、共同研究機関*3とともに「新たなさし木発根技術によるスギさし木コンテナ苗生産マニュアル」を公開の予定です。



2ヶ月半育成した苗木(苗長約40cm)。充分な発根がみられる。

*1：特許番号:第6709449号、発明の名称:さし穂の発根装置

*2：土（露地さし、九州育種基本区第一世代精英樹43系統平均）とエアざし（九州育種基本区第一世代及び第二世代精英樹61系統平均）の比較事例

*3：九州大学、宮崎大学、大分県農林水産研究指導センター、宮崎県林業技術センター、鹿児島県森林技術総合センター、株式会社長倉樹苗園、株式会社林田樹苗農園